

(様式1)

## 令和3年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
富山県富岩運河環水公園 都市計画課

2 施設所在地  
富山市湊入船町

3 施設設置年度  
平成9年度

4 設置目的  
とやま都市MIRAI計画のシンボルゾーンとして、水辺空間の豊かさを大切にしながら整備された親水文化公園

5 施設概要  
敷地面積：9.8ha  
主な施設  
・展望塔：鉄骨鉄筋コンクリート2棟 121㎡、高さ20m  
・泉と滝の広場：鉄筋コンクリート 775㎡  
・野鳥観察舎：鉄筋コンクリート平屋 55㎡  
・野外劇場：鉄筋コンクリート 122㎡ 観客席660  
・立体駐車場：鉄筋コンクリート 964㎡ 73台

6 指定管理者  
公益財団法人富山県民福祉公園

7 指定期間  
5年  
令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日

### 8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

#### (1) 利用者数（人）

H29	H30	R1	R2	R3
2,653,000	2,130,000	1,649,000	1,003,000	1,196,000

#### (2) 利用（使用）料金収入（千円）

H29	H30	R1	R2	R3
1,368	2,075	1,259	708	857

#### (3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H29	H30	R1	R2	R3
432	552	833	1,588	1,588

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- ・利用者数は、令和2年度比119.2% (193千人増)、有料公園施設の料金収入は令和2年度比121.0% (149千円増)となった。
- ・引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響があったが、イベントの開催や学校利用があったほか、屋外での散策を楽しむ方が増加したこと等により令和2年度を上回った。

### (2) サービス向上に向けた取組み

- ・TVの撮影等の希望を積極的に受け入れるとともに、ホームページやデジタルサイネージ(展望塔内に設置)でイベント情報をタイムリーに発信した。
- ・TOYAMA Free Wi-Fiの設置に協力し、来園者の利便性向上に努めた。
- ・平成29年度から、職員2名を常駐させ、迅速な対応ができる体制を整備した。
- ・令和3年度新たに、富山市が運行するグリーンスローモビリティのプロムナードまでの乗り入れに協力した。

### (3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

- ・パンフレットを周辺施設、旅行会社等に配布したほか、イベント情報を中心にホームページやちらしによる情報発信を行った。
- ・平成27年度から近隣3銭湯をランナーズスパステーションと位置づけ、チラシやのぼり旗を作成することでランナーの公園利用を呼びかけた。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	①公園利用者アンケート(5~3月のうち4日) ②公園認知度アンケート(12月19日ファボーレ富山)
回答者数	①215人 ②326人
結果	①散策や憩いの場としての利用:満足74%、やや満足16% 公園を利用しての満足度:満足66%、やや満足25% ②行ったことのある公園では208人、一番よく行く公園では61人の回答を得た。
結果を踏まえた改善事項	駐車場の改善要望が依然としてあり、混雑する期間には誘導員を配置し、立体駐車場への案内チラシを配布する等の対応を行っている。

#### ② その他利用者の声を反映させる取組み

- ・ご意見箱を設置している。
- ・ホームページに公園への感想要望等問合せ画面を設置している。

#### ③ 主な苦情と対応

- ・駐車場が満車で駐車できない。道路にはみ出して通行の妨げになる。⇒看板の設置や混雑時の誘導員の配置を行った。さらなる対応を検討している。

### (5) 個人情報保護の取組み

- ・個人情報に関するプライバシーポリシーを定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

・毎月第3日曜日の「環水公園の日」イベントにおいて、富山県民福祉公園、富山県白水カヌークラブ、富岩運河かたりべの会と連携して、カヌー体験教室と環水公園ガイドを定例イベントとして実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルを作成するなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ① 定期報告の受理
- ② 維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③ 個人情報に関するトラブルの有無
- ④ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

-

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・新型コロナウイルスによる影響により、感染症対策を実施しながらのイベント開催が求められる中、主催者と連絡を密に取るなど、利用調整や現場対応を引き続き適切に行い、トラブルや事故などの未然防止に努めてもらいたい。  
・定められた管理費の中で、公園の魅力を一層高めるため、必要となる駐車対策や施設管理の徹底等への対応について、引き続き共に検討を進めたい。